

テーマ名 価値創造工房 - 未来を切り拓くモノづくり-

(英文名) Value Creation Studio - For Creating our New Future -

1 担当教員：

○ 松下ステファン悠 助教 (TEL 022-795-7996 stephaneyu.matsushita.a5@tohoku.ac.jp)

加藤毅 特任准教授 (TEL 022-795-2283 takeshi.kato.b4@tohoku.ac.jp)

池ノ上芳章 特任教授 (TEL 022-795-7249 yoshiaki.ikenoue.b7@tohoku.ac.jp)

森谷祐一 教授 (TEL 022-795-4310 hirokazu.moriya.e1@tohoku.ac.jp)

2. 受入人数：30名

3. 実施時期：第2セメスター

4. 初回開始日時及び場所：

10月上旬, 月, 火, 金のいずれか 16:20 (@工学部総合研究棟13階TPCOオフィス)

※ 9月下旬に周知. 受講希望者の人数や他履修講義の関係により, 2クラスに分け, 実施曜日も分ける可能性もあります.

5. 概要：<https://youtu.be/316YvkXnls4>

みんながあっと驚くような独創的なものを作ってみたい！

シリコンバレー流の世界があっと驚くモノづくり、イノベーションの考え方を実践を通して学びます。価値創造工房では、誰もがそんなクリエイティブな人材になれるよう、デザイン思考をベースとして「アイデアを着想し、それをカタチにし、ブラッシュアップしていく」術を学びます。①～③のステップで、手を動かし試作を楽しむマインド醸成、身の周りのもので素早くアイデアをカタチにするスキル習得、そして顧客調査や顧客の気持ちをぐっと掴むためのより高度な試作作製への挑戦を行います。シリコンバレー等で常識となっているデザイン思考を用いた新しい価値を生むモノの創り方を学びます。また、本研修では異能アントレチャレンジで海外派遣研修に行けるチャンスがあります。

- ① **Try&Error 実習**：マシュマロチャレンジ、段ボール椅子、ストロー橋など、特段の専門知識を必要としない決められた課題にグループで取り組む。
- ② **Quick プロトタイプ**：各グループで課題（「スマートフォンのように、それなしの生活にもどれないもの」など）を選択し、紙、粘土、タコ糸などの安価な材料を使って短時間で自分達のアイデアをカタチにする。複数回の演習を通じて、顧客インタビューなども交えて試作をブラッシュアップしていく。
- ③ **Tech プロトタイプ**：創造工学センター等を利用して、簡単な電気回路やソフトウェア、3Dプリンターなどを用いて、思い描く機能をカタチにし、周囲の人々（顧客）を驚かせるような試作作製にチャレンジする。



概要説明動画

プロトタイピングの様子